

江戸城かわら版

NPO法人江戸城天守を再建する会

令和3年1月1日

寛永度天守甦る 皇居東御苑で天守模型公開

美しいも規模も
日本最高、世界に
誇れる木造天守

江戸城天守は、江戸幕府初代將軍の徳川家康が創建し、二代秀忠、三代家光が短期間のうちに次々と建て替え、三度建てられました。

家光が寛永十五年（一六三八年）に建てた寛永度天守は、明暦三年（一六五七年）の江戸大火（振袖火事）で焼失しました。

天守台は再築されたものの、幕府の財政難で天守が再建されることなく、今日に至っています。

寛永度天守は、外観は五重、内部は地上五階で、天守台の内部に地階がありました。「江戸御天守図」（都立中央図書館蔵）によると、一階は、南北三九・三〇m、東西三四・〇六m（いずれも四隅の柱の真々間隔）で、床面積は一三三八・五六m²（三四・六五坪）で史上最大の大

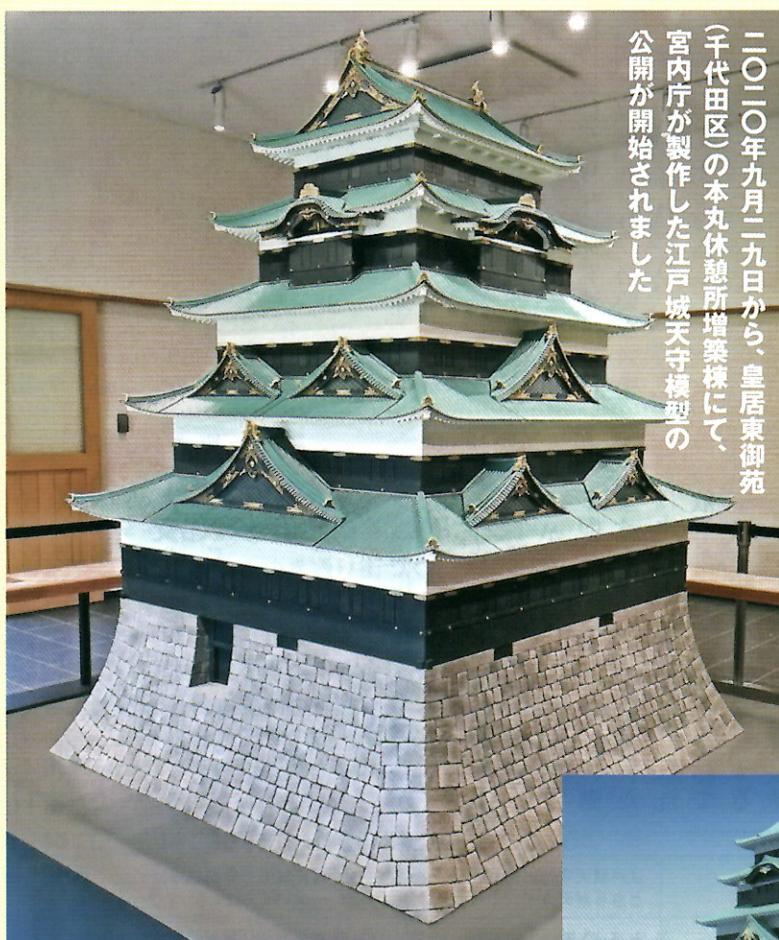
きさでした。現存最大の姫路城天守は約一六〇坪で、その約二・五倍でした。高さは、天守台を含めた総高が五八・六三mと算定され、現代の一九階建てマンションの高さに匹敵します。

外観は、一重目から五重目までが富士山のように整然と遞減していました。南正面と北背面には一重目に大きな千鳥破風、二重目に小振りの二つの千鳥破風、東西両側面では逆に一重目に二つ、二重目に一つの千鳥破風を飾っています。四階の四方には出窓を設け、四重目屋根にからめて唐破風屋根を設けていました。

重の屋根には、名古屋城天守と同様の金の鰐鉾が上げられています。

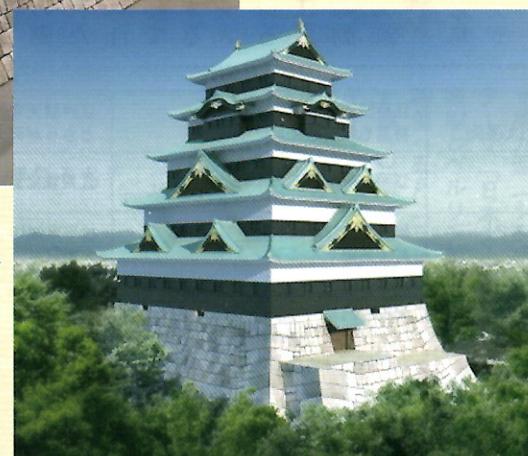
ました。

二〇二〇年九月二十九日から、皇居東御苑（千代田区）の本丸休憩所増築棟にて、宮内庁が製作した江戸城天守模型の公開が開始されました



公開された模型は高さ約2メートルで実物の30分の1の大きさです。金の鰐鉾や破風の装飾、石垣などが精密に再現されています。天守模型見学とARによる天守再現体験をセットにした東御苑散策ツアーをコロナの状況を配慮しつつ実施していく予定です。

写真右:復元図



CONTENTS		21
8	7654	
江戸の魅力発信	歴史に残る名城の天守	姫路城天守
当会入会案内	江戸城解説シリー	江戸城サロン
事務局からのお知らせ	支部長紹介	各支部・支部長紹介
江戸城散策チャンネル	オンライン講座「江戸城天守物語」	

寛永度天守甦る 江戸城天守模型公開

ネットで広げる再建運動

江戸城散策チャンネル

オンライン講座「江戸城天守物語」

江戸城解説シリーズ「江戸城サロン」

各支部・支部長紹介

歴史に残る名城の天守

姫路城天守

①

会員の広場

新人会員・寄付者

事務局からのお知らせ

当会入会案内

江戸の魅力発信

千代田区観光協会案内

江戸城散策チャンネル

オンライン講座「江戸城天守物語」

江戸城解説シリーズ「江戸城サロン」

各支部・支部長紹介

歴史に残る名城の天守

姫路城天守

①

先の見えぬ「江戸城の中」 ネットで広げる再建運動

デジタル駆使して
新しい活動スタイルを切り開く

明けまして
おめでとうございます。
本年も会員の皆様が
ご健勝でありますように。

模索してきました



昨年7月20日開催の支部長会はZoom併用で開催された。

昨年は二月以降、新型コロナ感染症の影響により活動を控えることを余儀なくされました。日頃の世論喚起活動が停滞したほか、会員数が伸び悩み資金難にみまわれました。しかし、活動の火を絶やさぬよう、発想を転換して新しい活動スタイルを実施していました。

セミナーでは、九月以来、当会特別顧問の三浦正幸先生が中心となって毎月開催するオンライン講座「江戸城天守物語」を始めました。会員が講師も務めるセミナー「江戸城サロン」シリーズも一〇月以降月一回のペースでオンライン開催を始めました。

オンラインでも、これまで実施していたリアルのセミナーに引きをとらない参加者数が見られています。そして回を重ねるごとに視聴者も慣れてきて、オンラインへの違和感が薄れています。

九月からオンラインによる新しいスタイルで、セミナーや委員会を開始し、活動を粘り強く継続しています。

支部長や会員の皆様をまきこんで委員会、部会を刷新・設立しました。打ち合わせをオンラインベースに変えつつ、委員会を中心とした活動体制に移行しました。

なお、世の中の様々な団体が、デジタルを利用して、人と人の接触頻度を抑えながら活動を再開しています。それが成果を上げつつある団体では、当会同様、会員が新しいスタイルに積極的に協力したり、必要なスキルを学んでくれたり、お持ちだつたスキルを披露してくれたりしていることが見られます。

コロナ禍によって、人を一か所に集めなくても詳細な情報を伝えることの重要性が一気に高まりました。そこで見直されたのが動画を使つた報告です。この課題に対して三つの動画によるチャレンジがなされたことによつて、YouTubeに「江戸城散策チャンネル」を開いておよそ二〇本の動画を公開することができました。

以下三つのチャレンジである「名城巡り」の成果動画、「江戸城天守物語」セミナーの記録動画、プロにナレーションをお願いした「松平定知江戸城解説シリーズ」を番組リストとともに順に紹介します。

名城巡りリモートツアー 「小田原城」(三島・横浜神奈川支部長)	江戸城天守物語第1話 将軍も親を超えた?	江戸城天守物語第2話 どちらがデカイ	江戸城天守物語第3話 一体いくら?
江戸城天守物語第4話 法隆寺五重塔は幼稚?	江戸城総集編516	江戸城総集編501	松平定知江戸城解説シリーズ1 大手門※
松平定知江戸城解説シリーズ2 中の門※	松平定知江戸城解説シリーズ3 富士見櫓※	松平定知江戸城解説シリーズ4 大嘗宮※	松平定知江戸城解説シリーズ5 天守台※
松平定知江戸城解説シリーズ6 平川門※	松平定知江戸城解説シリーズ7 外桜田門※	松平定知江戸城解説シリーズ8 二重橋	松平定知江戸城解説シリーズ9 清水門
江戸城天守CG解説	江戸城天守内部CG	江戸城天守内部動画	伝統的鏡開きの儀式
万葉の調べ 1月4日東京国際フォーラム	(※=改訂版)		

リモート名城巡り

「名城巡り」活動を新型コロナの制約下でいかに伝えるか、考案した作品です。

名城巡りでは、昨年一一月一六日に四五名で忍城(埼玉県行田市)見学ツアーや実現しました。

関江連城天守再建リスト

当会ホームページのYouTube公式チャンネルをクリックしてください。

三浦正幸氏（当会特別顧問）が中心となつて月一回のペース（全二〇回）でオンライン開催している「江戸城天守物語」の記録動画です。講演を一五分ごと休憩を入れて、話しが理解しやすいように工夫しています。現在第一回から抜き出した四話の動画を掲載しています。（前頁下段参照）

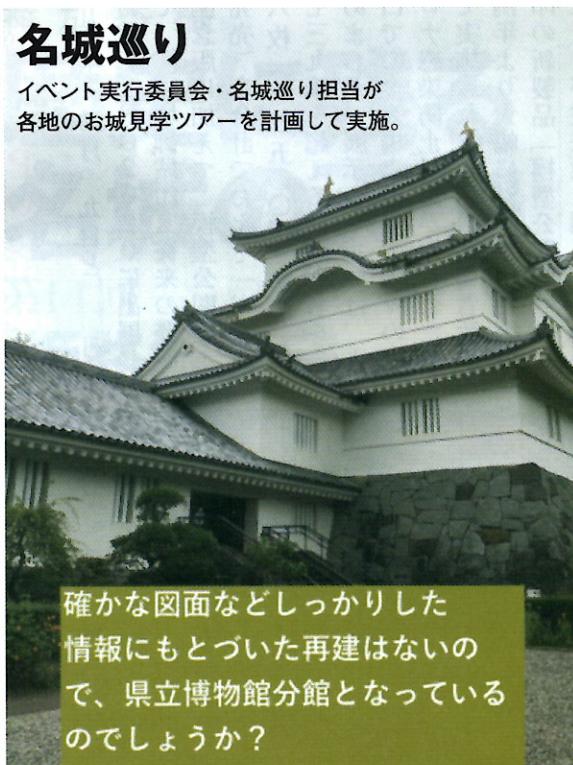
オンライン講座シリーズ 「江戸城天守物語」

た（「かわら版」五四号）。今年も六月六日に大多喜城（千葉県大多喜町）と久留里城（千葉県君津市）見学ツアーレイ定していたところ、残念ながらコロナ禍のため中止となりました。そこで田中理事と平出・千葉第六支部長が大多喜城に足を運んで、スライドによる報告を作成しました。（当会サイトの「会員の活動報告」参照）。

その後名城巡りグループのオンラインミーティングを重ねる中で、小グルーピングが代表としている名城を訪問して作った報告を広くSNSで紹介することとなりました。そこで神奈川県第一弾として三島・横浜神奈川支部長が、小田原城を訪問して、動画報告を作成しました。（前頁下段参照）

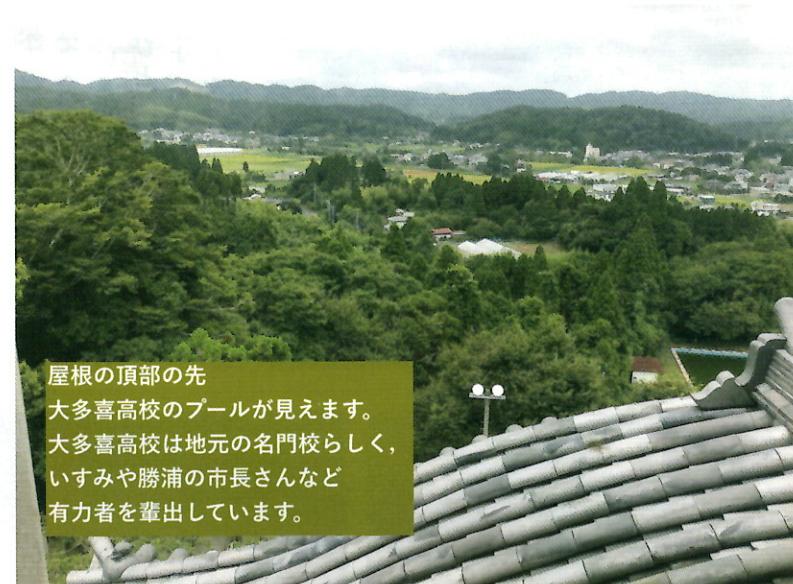
名城巡り

イベント実行委員会・名城巡り担当が各地のお城見学ツアーレイ定して実施。



確かに図面などしっかりした情報にもとづいた再建はないので、県立博物館分館となっているのでしょうか？

名城巡り（大多喜城）案内スライドの一部（作成／田中理事・平出支部長）



屋根の頂部の先
大多喜高校のプールが見えます。
大多喜高校は地元の名門校らしく、
いすみや勝浦の市長さんなど
有力者を輩出しています。

江戸城サロン1月2月予定

支部長と理事が講師で活躍！

▶テーマ「日本橋みゆき通り街づくり」

日時：1月17日（日）

14:00～14:30（10分休憩）14:40～15:10

講師：江戸城天守を再建する会理事

吉田誠男氏（日本橋みゆき通り街づくり委員会会長）

▶テーマ「松本城天守の魅力に迫る～

市民が守りたいと思う理由」

日時：2月14日（日）

14:00～14:30（10分休憩）14:40～15:10

講師：江戸城天守を再建する会理事

近藤一郎氏

江戸城サロン 10月から12月の以下の3回は好評のうちに終了しました。

▶テーマ「江戸の街から見た江戸城」

講師：鈴木俊也横浜神奈川第二支部長

▶テーマ「来年のNHK大河ドラマを楽しむ秘訣？」

講師：澤内隆駒込支部長

▶テーマ「カメラを通した美しい城」

講師：山本啓一川口並木支部長



予定 一月以降の

東京のまちづくり」開催・三月二一日（日）
講師・岡本哲志都市建築研究所主宰

▼第五回

テーマ「江戸城の構

造

世界最大の城郭

の

縄張り

と

史上最大

の

城門

一

開催

…

一

月二十四日（日）
テーマ「江戸城天守
に関わりあつた人物
と徳川家康・秀忠・
家光・中井正清・甲
良豊後・保科正之・
新井白石」開催一二

月二一日（日）
テーマ「江戸城天守
再建と江戸のまちづくり
&江戸城天守再建と

▼第七回
月二二日（日）
テーマ「明暦の大
火と江戸のまちづくり

月二三日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二四日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二五日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二六日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二七日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二八日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二九日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三十日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月四日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月五日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月六日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月七日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月八日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月九日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十一日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十二日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十三日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十四日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十五日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十六日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十七日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十八日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十九日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二十日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿一日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿二日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿三日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿四日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿五日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿六日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿七日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿八日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿九日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅一日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月四日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月五日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月六日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月七日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月八日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月九日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十一日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十二日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十三日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十四日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十五日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十六日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十七日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十八日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十九日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二十日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿一日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿二日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿三日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿四日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿五日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿六日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿七日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿八日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿九日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅一日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月四日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月五日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月六日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月七日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月八日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月九日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿一日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿二日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿三日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿四日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿五日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿六日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿七日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿八日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿九日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅一日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月四日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月五日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月六日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月七日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月八日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月九日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿一日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿二日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿三日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿四日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿五日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿六日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿七日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿八日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿九日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅一日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月四日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月五日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月六日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月七日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月八日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月九日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月十日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿一日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿二日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿三日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿四日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿五日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿六日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿七日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿八日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月廿九日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月卅一日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月二日（火）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月三日（水）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月四日（木）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月五日（金）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月六日（土）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月七日（日）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月八日（月）
テーマ「江戸城天守
再建に向け」

月九日（

松平定知氏の江戸城解説シリーズ

皇居東御苑散策ツアーの見所別案内とその総集編のナレーションを元NHKアナウンサーの松平定知氏（当会特別顧問）が担当しています。各巻の構成はP2参照。

年末の二つのイベント

署名活動と御城印販売

ファミリー バザールに参加

年末恒例の岩本町・東神田ファミリー バザールがコロナ対策をして開催され、当会も参加しましたが、前半の一月末の土日は実施できましたが、後半の一二月初めの土日は中止となりました。御城印の売り上げは一三四枚、賛同署名は二〇三筆に終わりました。



写真右：当会のコーナー。賛同署名から見るとかなり遠方からの人がいました。



写真左：EXPOサロンで「江戸の街から見た江戸城」をテーマに鈴木俊也 横浜神奈川第二支部長が講演した。

写真右：当会ブース。参議院議員松沢成文氏が激励に来られた。



お城EXPOに出展

昨年一二月一九日と二〇日、お城EXPO2020に出展して、江戸城御城印（従来の登城記念版に加えて、模型公開版を発売）を合計でおよそ一、一四六枚（一枚五〇〇円）販売し、七三九筆を超える賛同署名を集めました。展示ホールでは、入口での全入場者検温等種々のコロナ感染防止対策が取られた中で実施され、全体の入場者数が例年より大幅に減った中で御城印の新製品「模型公開版」の売れ行きが従来版と同じくらいの結果を見せました。なお、御城印は当会のイベント会場で販売していますが、当会HPのほか、「城びと」でも宣伝してくれています。

ブース・スタッフとして神奈川県在住の支部長の方々が中心になってくださったほか、鈴木俊也・横浜神奈川第二支部長が行つて、江戸時代に江戸城がどのように江戸の街と関わっていたのか語りました。コロナ対策のため、一テーブル一席の座席配置とはいえ、三二名定員の席配置とはいえ、三二名定員の席配置とはいえ、三二名定員の

席配置とはいえ、三二名定員の席配置とはいえ、三二名定員の席配置は、各委員会からの提案が出されました。新年度事業計画案、中期計画などが話し合われ、事業計画では各委員会からの提案が出されました。イベント実行委員会では、各委員会からの提案が出されました。伊藤実行委員会からは、昨年度の活動を継続推進するほか、今年度の新たなチャレンジとして、日本城郭協会や全国のお城団体、日本政府観光局（インバウンドの促進）等との団体と協力し、お城をベースにした全国的なイベントを計画していくたいとの方針が提案されました。

いずれの事業も支部長を中心とした会員一体となつた活動を期待したいということでした。

各支部・支部長紹介

当会を支えて下さっている

会場がほぼ満席となりました。

初日に国会で江戸城天守再建について質問しておられる松沢成文参議院議員が当会ブースに激励に訪れてくれました。

令和三年に向けた理事会

昨年二月二三日に令和二年

最後の理事会が開催されました。新年度事業計画案、中期計画などが話し合われ、事業計画では各委員会からの提案が出されました。伊藤実行委員会からは、昨年度の活動を継続推進するほか、今年度の新たなチャレンジとして、日本城郭協会や全国のお城団体、日本政府観光局（インバウンドの促進）等との団体と協力し、お城をベースにした全国的なイベントを計画していくたいとの方針が提案されました。

いずれの事業も支部長を中心とした会員一体となつた活動を期待したいということでした。

五重六階、地下一階の望楼型の大天守に、三重の小天守3棟（東・乾・西・小天守）を四棟の二重渡櫓（イ・ロ・ハ・ニの渡櫓）でないで中庭を囲つた、史上最大の連立式天守である。大天守自体も単独で現存最大の天守である。大小天守と渡櫓の全8棟が国宝に指定されている。

昭和解体修理中に発見された墨書きによる、大小天守と渡櫓の全8棟が鉛筆による。大小天守と渡櫓の全8棟が鉛筆による。

特別寄稿

歴史に残る名城の天守

第14回

「姫路城天守」その1



口の渡櫓から見た水の一門

姫路城は、この地方一帯を領有していた小寺氏の重臣だった黒田重隆（もとひろ）が、天正八年（一五六〇）、織田信長の配下職隆父子が永禄四年（一五六二）以前に創築した中世城郭に始まる。天正八年（一五六〇）、織田信長の配下だった羽柴秀吉が黒田職隆・孝高（官兵衛、後の如水）から姫路城を譲られた、播磨（兵庫県南部）経略のため近世城郭に改修した平山城である。

その翌年に初代天守が完成したという。現存する国宝天守群は二代目天守であって、関ヶ原の戦いの功績で播磨五二万石の大領を得た外様大名秀吉の天守については、輝政が建てた大天守の地下で礎石や石垣が発掘され、また輝政の天守や渡櫓にいた天守の柱・隅木・破風板・華頭窓枠などの部材が転用されていた。そ

れによつて秀吉の天守は、三重四階の望楼型と推定されている。一階・二階は同一大平面で、外壁は大壁造（柱が見えない壁）の塗籠（または下見板張り）、最上階は白木の真壁造（柱が見える壁）で、華頭窓を開いていたと推定されている。確認ができる史上初の大壁造の天守だった。発掘調査実測図や当時の写真によると、深さ二メートルほどの浅い穴藏をもち、穴藏周囲は幅二間の低い石塁で東面及び南面を囲み、一階は桁行八間半以上、梁間八間以上あつたと考えられる。浅い穴藏はあるが、それを地階とするには階高が足らないので、丸岡城天守（福井県、後続号で紹介予定）の創建当初のような深い床下であったと思われる。

連立式の天守は、大小天守四棟を渡櫓で連結し、それらで中庭を囲んだもので、単純に考えれば、それら

連立式天守の横矢掛け

は慶長一三年、小天守は慶長一四年である。慶長五年の関ヶ原の戦いから始まり、同二〇年の大坂城落城で終わつた、慶長の築城大盛況期に建てられた、最盛期の天守の一つである。同時期の天守としては、彦根・松江・松本城がある。

姫路城は、この地方一帯を領有していた小寺氏の重臣だった黒田重隆（もとひろ）が、天正八年（一五六〇）、織田信長の配下だった羽柴秀吉が黒田職隆・孝高（官兵衛、後の如水）から姫路城を譲られた、播磨（兵庫県南部）経略のため近世城郭に改修した平山城である。

その翌年に初代天守が完成したという。現存する国宝天守群は二代目天守であつて、関ヶ原の戦いの功績で

天守群へ至る通路の入口を塞ぐ水の一門に対する強力な防備となつてゐる。

また、姫路城では、大小天守をはじめ渡櫓や隅櫓には高性能な石落が完備されている。姫路城の石落は、

連立式の天守は、大小天守四棟を渡櫓で連結し、それらで中庭を囲んだもので、単純に考えれば、それら

は慶長一三年、小天守は慶長一四年である。慶長五年の関ヶ原の戦いから始まり、同二〇年の大坂城落城で終わつた、慶長の築城大盛況期に建てられた、最盛期の天守の一つである。同時期の天守としては、彦根・松江・松本城がある。

姫路城は、この地方一帯を領有していた小寺氏の重臣だった黒田重隆（もとひろ）が、天正八年（一五六〇）、織田信長の配下だった羽柴秀吉が黒田職隆・孝高（官兵衛、後の如水）から姫路城を譲られた、播磨（兵庫県南部）経略のため近世城郭に改修した平山城である。

その翌年に初代天守が完成したとい

う。現存する国宝天守群は二代目天守であつて、関ヶ原の戦いの功績で

天守群に至る経路は二つある。そ

のうち現存するのは天守群の西北から入る経路で、途中に水の一門から水の四門までの小さな四棟の城門を潜る。その奥に待ち構える水の五門口で、水の五門は大天守と西小天守を結ぶ二の渡櫓の地下にある。天守群に入った後も、西小天守地下に水の六門がある。徹底した防備であつて、天守経路の厳重さは、名古屋城天守とともに史上最堅固である。

もう一つの経路は、備前門から、本丸（備前丸）へ入り、本丸の南側を守る多門櫓に上つて、その内部の廊下を通り抜けて水の四門の門前に出るものであつたが、明治一五年（一八八二）の火災で備前丸南側の多門櫓等は焼失してしまつた。現在では、備前丸から水の四門の門前へ至る仮設階段となつてゐる。

三浦正幸

広島大学名誉教授
当会特別顧問

れらによつて秀吉の天守は、三重四階の望楼型と推定されている。一階・

姫路城では、大天守が極めて大きいので、それが東南隅に出つ張つて置かれる。東への出つ張りによつて北側の東小天守へ向けて横矢が掛かり、南への出つ張りによつて西側の西小天守へ向けて横矢が掛かる。

同様に西北の乾小天守を西北方向に出つ張らせれば、合わせて天守群の四面に総て横矢が掛かるので理想像であろうが、小天守は大天守ほど大きないので、西側への出つ張りだけにしてあり、南側の西小天守へ

向けて横矢を掛けている。その代わりに乾小天守は南側に少しずらして置かれているので、口の渡櫓との間で入隅が形成され、天守群西北部で横矢掛けが可能である。

天守群の出つ張りと完備された石落が形成する巧みな横矢掛けによつて、敵が一切近づけないように嚴重に守備されている。

天守群の出つ張りと完備された石落が形成する巧みな横矢掛けによつて、敵が一切近づけないように厳重に守備されている。

天守群の出つ張りと完備された石落が形成する巧みな横矢掛けによつて、敵が一切近づけないように厳重に守備されている。

天守群の出つ張りと完備された石落が形成する巧みな横矢掛けによつて、敵が一切近づけないように厳重に守備されている。

天守群の出つ張りと完備された石落が形成する巧みな横矢掛けによつて、敵が一切近づけないように厳重に守備されている。

天守群の出つ張りと完備された石落が形成する巧みな横矢掛けによつて、敵が一切近づけないように厳重に守備されている。

投稿、提案、当会イベント情報、支部活動報告などを随時掲載します。

会員のひろば



新たな城下町誕生を期待 赤羽 高（東京都）

高校時代は毎日、松本城を見ながら通学していたこともあり、城に対する親近感は人一倍かと思います。仕事にも余裕が出たので新たなものに挑戦しようかと思っています。伊能忠敬先生が富岡八幡宮から測量の旅に出発したのが五五歳。おこがましい気もしますが、勇気づけられます。旧江戸城の周りは、私が担当する事業会社や資金運用会社も多く、徒歩や交通機関で城の周りを巡ることが度々です。そんな折、東京かつて城下町であったことを再認識させられます。築城されれば壯觀であろうと思います。信州に縁のある名君の誉れも高い信濃高遠藩主の保科正之公が庶民のために再建を断念した城を再建することには夢を感じます。松本や姫路とは違う新たな城下町の誕生を氣長に心待ちにしています。

正之公の思いを継ぐ 天守再建を

若林源基（神奈川県）

東京生まれの新潟育ちです。越後の人間は会津が大好きです。会津といえば保科正之公です。江戸城にな

る事で、正之公が民の暮らしを優先させ、天守を後回しにしたのは有名なエピソードですね。明治以降も、私たちちは多くの震災、戦災、災害を乗り越えてきました。そしていま、コロナと闘っています。何よりも正之公の思いを受け継ぐシンボルとして、そして、民の暮らしの後には再建させたかったであろう、正之公の思いを形にするためにも、天守の復元が必要ではないかと思っています。

天守がないのか。明暦の大火灾で、正之公が民の暮らしを優先させ、天守を後回しにしたのは有名なエピソードですね。明治以降も、私たちちは多くの震災、戦災、災害を乗り越えてきました。そしていま、コロナと闘っています。何よりも正之公の思いを受け継ぐシンボルとして、そして、民の暮らしの後には再建させたかったであろう、正之公の思いを形にするためにも、天守の復元が必要ではないかと思っています。



飲酒は20歳になつてから。お酒はおいしく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。

神戸・灘 菊正宗酒造株式会社



手仕事でなければ、
決まらない味がある。



三六三年前に焼失した江戸城天守を、東京のシンボルとして甦らせたい。そんな思いを共有する人たちが集うNPO法人です。二〇〇六年NPO法人設立。当会主催の各種イベントや講演会のご案内をするほか、会報「かわら版」(年四回)をお届けします。

江戸城天守を 再建する会 入会案内会

メールアドレスをお持ちの方は事務局にメールをお送りください。イベント等の情報を届けます。

新規会員の勧誘にご協力を

メールアドレスをお持ちの方は事務局にメールをお送りください。イベント等の情報を届けます。

住所変更届けのお願い

ご住所・電話番号などが変更になりましたら、ファックスや電話で早めにご連絡ください。当会からのお知らせが届かないかもしれません。

メールアドレス登録のお願い

ご住所・電話番号などが変更になりましたら、ファックスや電話で早めにご連絡ください。当会からのお知らせが届かないかもしれません。

お知らせ



会長：太田資暁（太田道灌公18代子孫）
理事長：島田昌幸（テレビ東京特別顧問）
年会費：正会員（個人）10,000円
正会員（法人）100,000円
賛助会員（個人）3,000円
賛助会員（法人）50,000円

入会手続

- 1 ホームページ（クレジットカード）
 - 2 ゆうちょ銀行・払込取扱票
- ▶ 詳しくは当会事務局へお問合せください。

「日本の絆基金」寄付は
税の優遇措置があります。
ご検討ください。

「日本の絆基金」を利用して当NPO法人へ一万元以上ご寄付いただいた場合には、税制上の優遇措置が受けられます。翌年の確定申告で約四割が戻ります。

詳細は当会のホームページで「寄付」の欄をご覧ください。

「かわら版」への広告募集

編集部では誌面の充実のためにページ数を増やしたいと考えています。当会活動に賛同してくださる方、法人個人を問い合わせ、ご協力をお願い申し上げます。名刺広告も歓迎です。サイズ、掲載料などは事務局にお尋ねください。

お詫びと訂正

前号巻頭ページで黒田涼氏のお名前が黒田涼となっていました。また新規入会の南新太郎様の苗字が落ちていました。お詫びして訂正します。

本号に会員の皆様へのSNSに関するアンケートを同封いたしました。ご協力をお願い申し上げます。

◆年会費自動払込（ゆうちょ銀行）
当会では、ゆうちょ銀行口座からの年会費自動払込を行っています。

◆年会費カード決済
会費納入や寄付金の決済は、クレジットカードにも対応しています。

カード決済ご希望の方は、当会ホーミングカード決済（カード決済）からどうぞ。（カード決済の自動継続扱いについてはもうしばらくお待ちください。）

※「かわら版」への投稿、提案、お問合せは、事務局宛て郵便・FAXまたはメールにてお願いします。
〒101-0065
東京都千代田区西神田2-5-7-505
E-mail=info@npo-edojo.org



前号巻頭ページで黒田涼氏のお名前が黒田涼となっていました。また新規入会の南新太郎様の苗字が落ちていました。お詫びして訂正します。

美しい時代へ——東急グループ

東急不動産ホールディングス



「働く」「住む」「過ごす」が融合した新しいライフスタイルの創造へ

WORK

最先端のスマートビルで
新しい働き方を提案

大規模複合施設
「東京ポートシティ竹芝」



HOME

家族3世代が寄り添う
新しい住まい方を提案

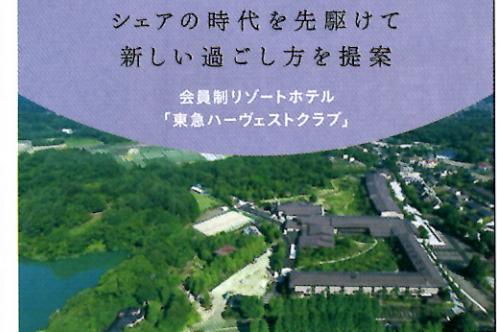
ライフストリータウン
「世田谷中町プロジェクト」



PLAY

シェアの時代を先駆けて
新しい過ごし方を提案

会員制リゾートホテル
「東急ハーヴェストクラブ」



東急不動産

東急不動産は、東急不動産ホールディングスの一員です。

www.tokyu-land.co.jp

千代田区観光協会の紹介①

江戸城天守の再建は、完成の暁には地元・千代田区にとつても観光の目玉として期待されるものです。そのため、当会は千代田区との連携を進めていくことになりました。

本号から四回連載で、千代田区の観光事業振興を担っている観光協会に、活動の様子や観光の目玉を紹介していただききます。

江戸城の濠に面して観光案内所と事務所を構える一般社団法人千代田区観光協会は、千代田区の自然、景観、文化・歴史、産業・技術などの魅力を発信しています。この観光協会の活動を連載でご紹介します。

が全国の観光パンフレット が集まる

千代田区の観光に関する情報発信を長く行ってきましたが、近年のインバウンド対策及び2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催を見込んで、千代田区や近隣区のみならず、首都圏、さらには日本全国の主な観光地も紹介できるような観光案内所をめざしました。そして令和元年八月に日本政府観光局（JNTO）のカテゴリー2を取得し、土日祝日も案内所窓口は営業することから南は九州・沖縄まで、さまざまな観光地のパンフレットが五百以上そろっています。

旅行を助ける
サービスが充実

千代田区のオリジナルグッズを販売しています。千鳥ヶ淵の桜の葉と、皇居外苑の黒松の葉、それから抽出したエキスを配合した二種類の入浴剤は、千代田区ならではの商品として人気です。刀剣をモチーフとした水引のついた特別版のものや、桜と黒松を一包ずつ試せる「贅沢セット」も好評です。ほかにも、古地図をプリントした「江戸古地図タオル」や桜べつこう飴（期間限定）などもあります。

オリジナル商品が
手に入る



千代田区オリジナルの入浴剤

そのほか、スマートフォンのモバイルバッテリーの貸出や荷物預かり（有料・現在新型コロナワイルスの影響で中止中）など、観光や街歩きに便利なサービスを行っています。皆さま、ぜひお立ち寄りください。



千代田区観光案内所
千代田区九段南1-6-17
Tel.03-3556-0391
午前十時～午後六時
第4日曜日と年末年始は休業



千代田区のみならず全国の観光情報を揃えている。

月～金曜日
午前11時00分・夕方17時10分
テレビ東京・BSテレ東 毎月1回スペシャル番組を放送中! <http://www.toranomon-ichiba.com/>



江戸城かわら版 Vol.58 令和3(2021)年1月1日発行 発行所／NPO法人江戸城天守を再建する会

発行人／島田昌幸 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-505 TEL.03-6423-1882 FAX.03-6423-1897

Mail = info@npo-edojo.org URL = <http://npo-edojo.org> Facebook = <http://www.facebook.com/npoedojo>